

講義・演習概要（シラバス）

第1部課程第121期（平成25年10月24日～平成26年3月18日）

課 目 名	民法
時 限 数	24時限
担 当 講 師	中央大学法科大学院 教授 山口 成樹 ＜プロフィール＞ 平成2年3月東京大学法学部卒業 平成2年4月東京大学法学部助手 平成5年10月東京都立大学法学部助教授 平成16年4月中央大学法学部教授 平成21年4月中央大学法科大学院教授
ね ら い	民事法の一般法たる民法が、実際どのようにしてその地位を占めているかを理解し、そうであるがゆえにその解釈・適用にはどのような特色があるかを理解することが目標である。
講 義 概 要	民法の総則・物権・債権の各編(財産法分野)に的を絞って、そこでの重要制度および関連特別法を概説する。精緻な体系的理論的叙述よりも、実際の紛争を扱った最高裁判決の分析に重点を置き、民法の解釈適用の実像と特色を肌で感じてもらえるようにしたい。毎回の講義の前半では、3人1組での発表と、それに基づくフロアー・ディスカッションを実施する。 ■第1～2回 民法典の構成、契約総論 ■第3～4回 契約各論 ■第5～6回 契約各論、債務不履行 ■第7～8回 債権担保 ■第9～10回 不法行為 ■第11～12回 時効、法人
受講上の注意	・指定教材とeラーニングを使って、予習復習を徹底させること。 ・ローテーションによる発表及びディスカッションに積極的に参加すること。
使 用 教 材	「民法1 総則・物権 第三版」我妻 栄・有泉 亨・川井 健（頸草書房） 「民法2 債権法 第三版」我妻 栄・有泉 亨・川井 健（頸草書房） 「別冊ジュリスト 民法判例百選Ⅰ 総則・物権」（有斐閣） 「別冊ジュリスト 民法判例百選Ⅱ 債権」（有斐閣）
効 果 測 定	主として期末の筆記試験によるが、講義中での発表・発言の内容も加味する。
そ の 他 (他の課目との関連)	なし